



三春駅前にあった三春ミルクプラント。  
(写真・ENEOS三春駅前SSに掲示)



三春牛乳の歴史を  
たどっていくよ!

# 旧御木沢農協による 三春牛乳のあゆみ



## 昭和32年 [1957年] 三春牛乳、誕生!

牛乳加工場「三春ミルクプラント」を三春駅前に建設し、操業を開始。ブランド名を「三春牛乳」に。三春牛乳の誕生当時は、生産量が1日3,000本、1本180mlで10円(当時の牛乳は1本12~13円が普通で、かなり安価!)でした。

## 昭和30年 [1955年]

旧御木沢農協が養蚕・葉たばこに代わり、新しい作目として「酪農」の導入を検討。

レトロで  
かわいい~♪



三春牛乳初代のピン(★)  
三春牛乳のピンといえば、三春駒の絵!昭和50年頃まで、リニューアルを繰り返しながらも三春駒の絵は使われ続けていました。

## 昭和40年 [1965年]

雪印委託製造開始  
(43年まで)。

## 昭和33年 [1958年]

郡山市清水台に出張所を開設。新しい販路を開拓しながらの事業は大変だったそうですが、約3年かけて1日10,000本を生産するにまで拡大。



検ピン作業の風景(◇)



昭和40年代中期頃のピン(★)  
赤から青いデザインに代わり、英語表記になっています。

## 昭和41年 [1966年] ~

営業所を二本松、猪苗代、会津若松、福島、いわきに開設し、販路を拡大。郡山や会津若松、猪苗代にはミルクプラント用地も持っていたそう!



二本松営業所(◇)

## 昭和43年 [1968年]

1日12,000本の製造ラインを増設。東北では2番目となるテトラパックの製造を開始。



次ページに  
続くよ!



### 旧御木沢農協こぼれ話

ミルクプラント事業等の発展により、旧御木沢農協の貯金額はなんと福島県で1位に(組合員1人あたり、約1,000万円だったとか...)! 農協の規模の大きさを伺えます。

配達や回収に使われていた木箱だよ!

当時を知る人によると、ゴミの集積所のように町のあちこちに空きピンの回収場所があり、生産が増えるほど回収も増えるため、回収する方は大変だったそうです。

